

**RIS FAX**  
発行人 藤田貴也  
編集長 森下正章  
<http://www.risfax.co.jp>

(株) 医薬経済社  
103-0023  
東京都中央区日本橋本町  
4-8-15 ネオカワイビル  
TEL 03(5204)9070  
FAX 03(5204)9073

●(C)当社の許可なく複写することを固くお断りします●

## 自治医大・今野教授 子宮頸がんワクチン問題、「疫学調査の体制を」

自治医科大学附属さいたま医療センター産科婦人科の今野良教授は21日、WACC・イン・ジャパン実行委員会主催の子宮頸がんワクチンに関するセミナーで講演した。一部の接種者が訴えている機能的な身体症状といった有害事象に関して、ワクチンとの「因果関係が証明されたものはない」と強調し、「副反応と有害事象が混乱して捉えられている」現状を問題視した。

また、因果関係を明らかにするにも、国によるワクチン接種登録や、ワクチン導入前の背景発生率の把握といった前向きな疫学的調査の制度が整っていなかったことを指摘し、「今回のことから学ぶのは、こういった制度をつくらないといけない」と訴えた。また、積極的推奨の差し控えが続いている現状に対しは「この間にも子宮頸がんの発生を防げない」と説き、定期接種の再開を望んだ。

記事医療許諾番号 Z32274